

# 令和8年度愛知県災害廃棄物処理計画推進業務 仕様書（案）

## 1 業務の名称

令和8年度愛知県災害廃棄物処理計画推進業務

## 2 業務の目的

本県では、大規模災害発生時において県民生活及び産業活動の早期復旧、復興を果たすべく、2016年10月に愛知県災害廃棄物処理計画を策定した。また、2022年1月には、近年の集中豪雨等の状況を踏まえ、地震・津波以外の災害廃棄物対応の知見が蓄積されたことなどから、同計画を改定した。

同計画を実効性の高いものとし、迅速かつ適正な災害廃棄物の処理を遂行するためには、一義的な災害廃棄物の処理主体となる市町村等と連携した処理体制を構築することが重要である。

そこで、研修会や図上演習を実施するためのプログラム作成や運営補助業務を委託し、市町村等と連携した実効性ある災害廃棄物処理体制の構築を図るものである。

## 3 業務の内容

### （1）業務実施計画の作成

受託者は、業務の目的を踏まえて、業務実施方針、業務スケジュール、組織・連絡体制等を記載した業務実施計画書を作成し、委託者に提出する。

### （2）研修会の実施支援

以下のア、イの研修会を実施するための支援（資料作成を含む）を行う。

#### ア 基礎研修会

災害廃棄物処理の全体像（タイムライン、国庫補助制度、広域連携、市町村における業務対応の内容・流れなど）や初動対応について基礎的な知識を習得するための講義や、有識者や過去の災害で災害廃棄物処理を経験した自治体、先進的な災害廃棄物対策を実施している自治体の職員等による講演を通じて、災害廃棄物処理における課題やノウハウを共有し、理解を深める。

なお、研修の内容は、受託者からの提案に基づき、県と協議の上、決定する。

<対象者> 県、市町村及び一部事務組合の災害廃棄物担当者 約80名（予定）

- ・主として初任者を対象とする。
- ・研修の内容によっては民間事業者団体も含むものとする。

<開催回数> 1回（オンデマンドのYouTube配信形式（1か月程度））

<テーマ> 災害廃棄物処理に係る法改正の概要、災害時の特例措置、市町村・民間事業者団体等との協力・連携に係る手続き内容やフロー等

## イ スペシャリスト養成研修

より専門性の高いテーマを取り扱う座学及び演習を通じて、災害廃棄物を迅速かつ適切に処理するための実務対応力の向上と受講者間の人的ネットワークの構築を図る。

なお、研修の内容は受託者からの提案に基づき、県と協議の上、決定する。

<対象者> 県、市町村及び一部事務組合の災害廃棄物担当者 約 30 名 (予定)

- ・主として経験者（業務経験 1 年以上）を対象とする。
- ・研修の内容によっては民間事業者団体も含むものとする。

<開催回数> 1 回（2 日間）

（8 月 31 日（月）愛知県三の丸庁舎大会議室（予定））

（9 月 30 日（水）愛知県自治センターE 会議室（予定））

<テーマ> 災害廃棄物仮置場

- ・設置計画に係る机上演習を含むものとする。

研修会における受託者の役割は以下のとおり。

- ・研修プログラムの作成、資料の作成
- ・研修受講者の募集、周知、勧誘、受講者の取りまとめ。
- ・当日の会場準備、運営  
室内会場は、県の会議室を使用する。  
視察等のフィールドワークを提案することも可能である。
- ・当日使用する資料、資材（パソコン、プロジェクター、演習等で使用する模造紙、筆記用具等）の準備
- ・有識者の講演を行う場合は、写真撮影、ビデオ撮影（有識者が承諾した場合に限る。）、謝金・旅費の支払い

### (3) 図上演習の実施支援

大規模災害の発災時において、県及び市町村、民間事業者団体等が連携して迅速かつ適正に災害廃棄物の処理に当たれるよう、図上演習を実施する。なお、市町村等が災害時に迅速かつ的確な対応をとれるよう図上演習で使用するシナリオに、受講者間のグループワークが必要となるアウトプット（発生量推計、仮置場レイアウト、特例措置の適用、市町村・民間事業者団体等への協力依頼など）を設定するなど研修効果を高める工夫をすることとし、受託者からの提案に基づき、県が決定する。

<対象者> 県、市町村、一部事務組合及び民間事業者団体等の災害廃棄物担当者  
約 100 名（予定）

<開催回数> 演習 1 回（2 日間）

（11 月 9 日（月）愛知県西三河総合庁舎大会議室（予定））

（11 月 10 日（火）愛知県西三河総合庁舎大会議室（予定））

図上演習における受託者の役割は以下のとおり。

- ・研修プログラムの作成、資料の作成
- ・研修受講者の募集、周知、勧誘、受講者の取りまとめ。
- ・当日の会場準備、運営（会場は、県の会議室を使用する予定。）
- ・当日使用する資料、資材（ビブス、パソコン、プロジェクター、ホワイトボード、模造紙、筆記用具、コピー機等）の準備
- ・図上演習の様子の写真撮影、ビデオ撮影

### (4) 業務報告書の作成

3（2）～（3）で実施した内容について、報告書を作成する。

## 4 成果物の納入

### (1) 部数

業務報告書（印刷物） 1 部

業務報告書の電子データ及び研修会、図上演習で撮影した写真、ビデオ等のデータを記録した電子媒体（CD-R 等） 1 部

### (2) 納入場所

愛知県環境局資源循環推進課

## 5 その他

- (1) 原則として、受託者からの提案に沿って、本県との打合せや協議を行った上で、業務を実施すること。また、必要に応じて、有識者、関係者等との連携やヒアリング、データ収集等を行った上で、必要な作業を実施すること。

- (2) 県が貸与するもの以外、本業務を行うにあたり必要な資料は、原則として受託者が用意すること。
- (3) 受託者は、成果物の著作権（著作権法第 21 条から第 28 条に規定する権利をいう。以下同じ）を愛知県に無償で譲渡するとともに、著作人格権を行使しないものとする。また、著作権関係の紛争が生じた場合、一切受託者の責任において処理すること。
- (4) 納入される成果物について、第三者が権利を有する著作物（以下「既存著作物等」という。）が含まれる場合には、受託者は、当該既存著作物等の使用に必要な費用の負担及び使用許諾契約等に関わる一切の手続きを行うこと。
- (5) 受託者は、本仕様書に明記されていない事項、又は疑義を生じた事項については、県と協議して定めるものとする。
- (6) 採用された企画提案は、県と受託者の協議の上で内容を変更することがある。